

仁科仁美、目標は仁科家初のバツなし人生

タレントの仁科仁美(29)が15日、都内で行われた「LOVEコラボキャンペーン」のPRイベントに出席した。

江崎グリコ「ポッキー」と、全国のプロポーズにふさわしい場所を認定する「恋人の聖地プロジェクト」、JTB西日本が共同企画し、恋人たちを応援するキャンペーンを実施する。

恋人たちをターゲットにしたキャンペーンながら、仁美は「いいんですけどね、恋人」と苦笑。「だからこれから頑張るって感じですかね。今年で30歳になっちゃうんですよ！そろそろヤバいなって感じなので本気で婚活しなきゃ」と焦りをのぞかせ、「バレンタインに今のところ相手がいないので、あと1か月でキュンキュンとする相手を見つけたい」と本音を吐露。結婚式も「地味でいい。プロポーズの言葉もフランクに『結婚しよう』と言ってくれれば。35歳までに」と理想を明かした。

父の松方弘樹(71)と母の仁科亜季子(60)は1998年に離婚。亜季子はその後再婚したものの離婚し、兄の仁科克基(31)も約2年で結婚生活にピリオドを打っている。

仁美は「私だけ“クリーン”なんです！最近よく言われるのが『仁科家は全員離婚しているから、お前もどうせ離婚するんだろう』って。だから、それは絶対はないって言い切っているんですけど、目標は長く、バツがつかないように、幸せな結婚ができる相手を見つけます」と自分に言い聞かせるように語った。

(1/16 0:18)